

# つかさ会 会報

Vol. 35  
2009. 3 月発行  
つかさ会事務局

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

ところどころで梅が綺麗に咲いています、今年は早いですね。花粉も飛んでいるようで…辛いところです。

さて、つかさ会は平成 22 年には 30 歳を迎えます。発足した昭和 55 年のときのことは私も知りません。当時のことをご存知の方がおみえでしたら教えていただけないでしょうか。発足より 29 年たった現在の会員数は 494 名と徐々に大きく活動的になってきました。来年度もスタッフ一同も努力いたしますので、宜しく願いいたします。なお、年会費の振込みは来月号とともに郵送させていただきます。転居などで住所変更された方、事情により退会を希望される方は、必ず事務局(058-230-6378)まで連絡をお願いいたします。

今月号の『さかえ』では、“世界糖尿病デー(P38)”でブルーライトアップされたランドマークに驚きましょ。有名な建造物はともかくリオデジャネイロの丘のキリスト像、カイロのピラミッド・スフィンクスまでがブルーに染まるとは…。今や糖尿病は世界中の関心事です。ひと昔前は、糖尿病の診断を隠す方もおられました。時代は変わってきています。“メディカルトピックス(P36)”では 2007 年の厚労省発表で、推定糖尿病患者 890 万人、予備群と合わせて 2210 万人との数字も驚いてはいけません。

インスリンを打たれている患者さんは、“薬のいろは(P17)”で今一度確認をお願いします。30 種類以上もあるインスリンの中で、今使用されている種類は判りますか？“インスリン生活 50 年(P10)”とまでいかなくても上手に付き合いたいものです。

『さかえ』の編集委員の一人である林先生(P59)は、私と同門の医師です。糖尿病療養指導に力を入れておられます。「1 年間我慢すれば、5 年間努力すれば、と期限付きの療養生活ならどれだけ気が楽になるでしょう」のフレーズには共感できる人も多いのではないのでしょうか。糖尿病患者さんは、多かれ少なかれ糖尿病に対するストレスがあると思います。匿名でいいので“読者の広場(P56)”に投稿されては如何でしょうか。私は毎月ここをとっても楽しみながら読んでいます。私へのメッセージでも結構ですよ。